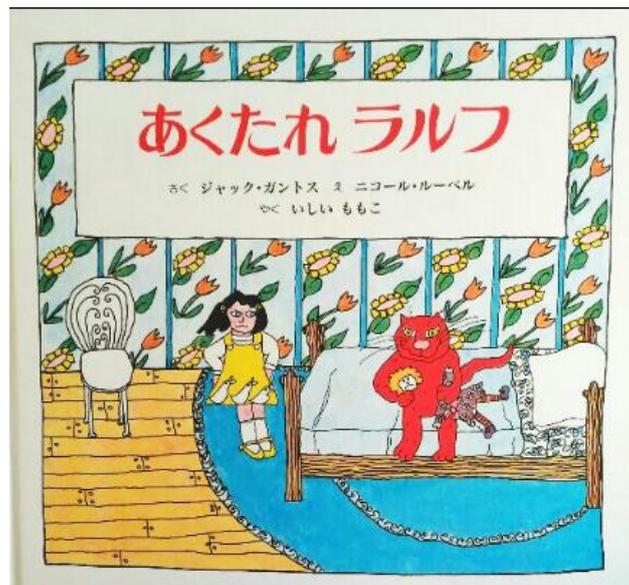


～読んでみない？こんな本～

あくたれラルフ

ジャック・ガントス さく 童話館出版



あくたれ猫のラルフはセイラの猫です。ラルフのあくたれはひどすぎて、セイラをからかうのはもちろん、お父さんのものを勝手に使ったり、お母さんを困らせたりします。

ある日サーカスに行ったラルフは、隣に座ったうるさい犬にゴム風船をしぼりつけて、空へ飛ばしてしまいます。さらにブランコに乗って綱渡りしている人を突き飛ばし、サーカスの象達を脅かします。あまりのあくたれぶりに怒ったお父さんは、ラルフをサーカスに置いて帰ってしまいました。さあラルフはサーカスで働かなくてはなりません。そこには辛い仕事等待着いて…。

あくたれってどう意味か知ってますか？ひどいいたずらや暴れ者のことを言うのですが、表紙に描かれたラルフはかわいくないし、いかにも暴れ者で、意地悪そう。いたずらの中身もめちゃくちゃすごい！こんなことしてもセイラはラルフが好きだなんて本当かしら？と疑ってしまいます。おまけにこの個性的な絵がすごく惹きつけられます。おおよそ子どもの本にはあまり使われないような絵ですが、このハチャメチャだけど憎めないラルフによく合っているのです。最後は無事にセイラと再会できて一安心。でもラルフのあくたれぶりはなくなったわけではなさそうですが…。